

吉野東中学校の「私たちの校区にある世界遺産『寺山炭窯跡』ガイドボランティア」の取組

1 学校名

鹿児島市立吉野東中学校

2 学年・人数

3年生 10人, 2年生 3人, 1年生 4人

3 日時・場所

- (1) 令和4年5月23～27日 ガイド準備
令和4年7月 「寺山炭窯跡新聞」発行準備
令和4年7月30日 吉野地域中高生ワークショップ
令和4年8月27日 吉野地域中高生フィールドワーク
(関吉疎水溝, 知識兼雄墓地, 寺山炭窯跡)
令和4年11月17～22日 ガイド準備
令和4年12月 「寺山炭窯跡新聞」発行準備
- (2) 令和4年5月28日 寺山炭窯跡ガイドボランティア
寺山の森再生プロジェクト参加(どんぐり植樹)
令和4年7月7日 「寺山炭窯跡新聞」発行
令和4年11月23日 寺山炭窯跡ガイドボランティア(寺山ふれあい公園)
令和4年1月 「寺山炭窯跡新聞」発行

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

- (1) 名称・時代
寺山炭窯跡(てらやますみがまあと): 江戸時代

- (2) 特徴

1858年(安政5年)に第11代薩摩藩主島津斉彬の命により, 寺山に作られた。斉彬が興した集成館事業の燃料となる木炭を製造。磯に近く, 木炭の材料に適したシイやカシの多い寺山が選ばれ, 地山を削って凝灰岩で6×5mの炭窯が作られ, 火力の高い白炭が焼かれた。2015年7月, 「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録。2019年(令和元年)7月大雨による土砂崩れにより崩壊。現在は復旧工事が進んでいる。

5 保存会や地域との連携の具体

- ・NPO法人 地域サポートよしのねぎぼうず(吉野兵六会)
吉野地域の中高生に向けた「吉野の未来を未来につなぐワークショップ」, 吉野地域の遺産をめぐるフィールドワーク, 吉野兵六会が主催する「寺山おタカラ発見!」(心岳寺詣に合わせたガイドボランティア)など, さまざまな場面で学習や発表の場をいただいている。
- ・鹿児島市教育委員会文化財課世界遺産保全係
「世界遺産 寺山の森再生プロジェクト」へ参加。寺山へのどんぐりの植

樹や植え替え（鉢上げ）を行ったり、また、来校してもらい学習会を行ったりしている。また、校内でも寺山に植樹するためのどんぐりを育てている。

- ・ 鹿児島市観光交流局観光交流部世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課
ガイドボランティア時に使用するベストおよびキャップを製作していただいた。

6 活用の取組の工夫した点

学校の教育課程外での有志によるボランティアで活動している。活動のための準備時間の確保が難しかったが、放課後や土曜などを使って学習を進めた。地域の NPO 法人や市教委などから多大なるご支援をいただき、子どもたちが主体的に郷土を学び、自分たちの住む吉野を誇りに思う態度の育成につながっている。これからも、史跡の歴史的な価値の学習にとどまらず、周辺の自然環境に対する学びや地域とのつながりにまで広げた活動を進めていきたい。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

- ・ 写真で見ると、実物を見るのでは伝わり方は別物のように感じられる。フィールドワークでは炭窯の歴史だけではなく、地層・地質のことまで教えてもらったり、他の学校の人たちが調べたことをガイドしてもらったりしてとても興味深かった。先人たちががんばって作ったこの場所を自分たちが永久的に守っていかないといけないと思っている。

（ガイドボランティアに参加した生徒の感想より）